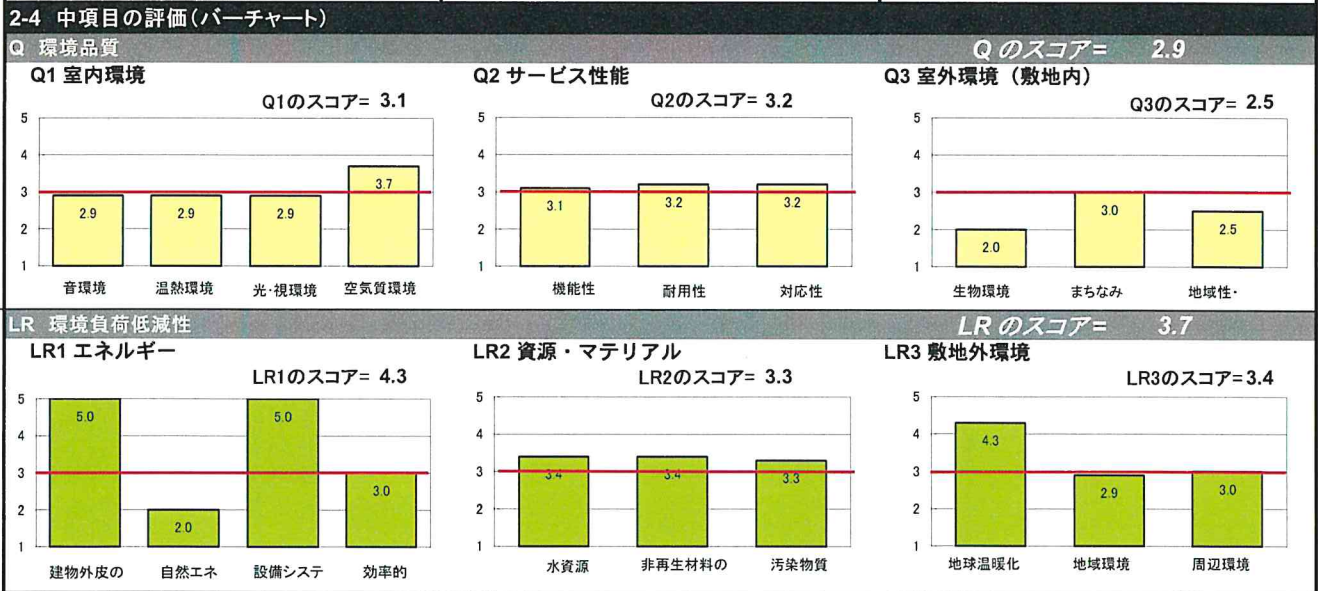
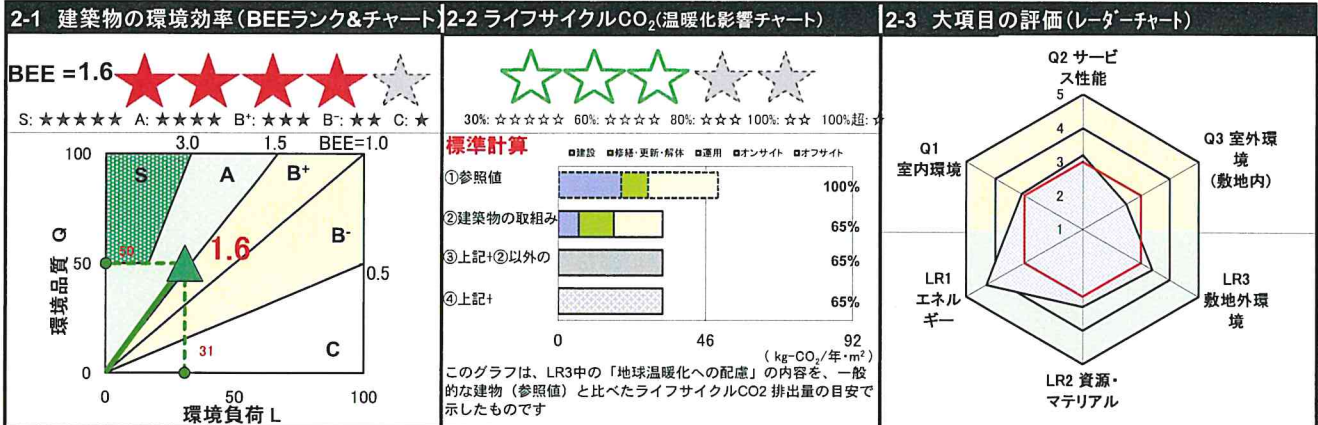


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 商業1丁目計画分譲棟 新築工事	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	107 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年2月25日
敷地面積	7,973 m ²	作成者	環境・設計共同企業体 代表 株式会社 環境建築研究所 大阪事務所
建築面積	4,927 m ²	確認日	2025年2月25日
延床面積	15,082 m ²	確認者	環境・設計共同企業体 代表 株式会社 環境建築研究所 大阪事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺環境に配慮した計画に努めた。また、省エネルギー性能に配慮した快適な室内環境を整えられるよう努めた。		無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
断熱性能を平成28年基準による省エネルギー対策等級5とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地を設け、良好な緑地環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能を省エネルギー対策等級6相当、コージェネレーション給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	便器を節水型とし節水に配慮。P S、天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される